

表示制度の徹底的な把握と新たな時代の展望

— 制度改革前の確認事項 —

民主党が政権をとり、消費者向けの表示、情報提供のあり方が大きく変わろうとしています。

食品業界では期限表示、原料原産地表示、原料名表示について違反事例が残っているなど、完全には浸透していません。また、新たに情報提供のあり方についても検討が進み、行政の枠組みも変わろうとしています。

今回のセミナーでは、期限表示、原料原産地表示、原料名表示の違反事例をまじえてお話いただき、当社の担当記者が行政の枠組みの変更について言及します。

なお、情報提供の優良事例でお話いただく方を調整中ですので、パネルディスカッションで内容の若干の変更の可能性もあります。あらかじめ、ご了承ください。

日時：平成21年9月29日(火) 13時30分～16時25分 (受付開始:13時00分)

会場：東京八重洲ホール(東京都中央区日本橋3-4-13) ※地図裏面

受講料：1万5,000円(税込み) ※食品製造・品質研究会会員は無料

第1部：講演1 [13:30～14:30]

テーマ：「期限表示、原料原産地表示、原材料名表示の違反事例詳細」

講師：(独)農林水産消費安全技術センター 専門調査官 原田伸一氏

- 違反事例にみる内容詳細・違反事例の原因、改善策

第2部：講演2 [14:30～15:10]

テーマ：「表示に関する新たな流れ」

講師：日本食糧新聞社 編集本部・先端取材局長 伊藤哲朗

- 消費者庁の設立による表示ルールの決め方、民主党による改革の方向

◆◆◆ 休憩(15分間) ◆◆◆

第3部：Q & Aセッション [15:25～16:25] ※最大30分延長あり

(事前質問票にもとづいた講師と受講者によるディスカッション)

テーマ：「適切な表示、情報提供を実現するための方策」

コメンテーター：(独)農林水産消費安全技術センター 主任調査官 新宅光一氏

(独)農林水産消費安全技術センター 専門調査官 原田伸一氏

進行：食品製造・品質研究会 事務局長(伊藤哲朗)

*現在、パネリストを調整中です。

主催 日本食糧新聞社 食品製造・品質研究会

事務局：中山・大川・合志(ゴウシ)・伊藤 TEL03-3432-4664 携帯090・3146・7995

セミナー情報：<http://www.nissyoku.co.jp/seminar/>

食品製造・品質研究会セミナー 9月29日 申込書

FAXで **03-3459-4654** までお申込み下さい。

- ◇お申込み後、請求書をお送りいたします。
- ◇受講票は発行していません。
- ◇当日は名刺をお持ちください。

平成21年 月 日

会社名	
〒 住所	
電話	FAX
部署／お役職	お名前

【会場】

東京八重洲ホール

東京都中央区日本橋3-4-13
TEL:03-3201-3631

○JR東京駅 八重洲中央口より徒歩3分

○東京メトロ

銀座線日本橋駅・京橋駅より徒歩5分
東西線日本橋駅より徒歩5分

